

2014年6月5日

各 位

SBSホールディングス株式会社

シンガポール現法が傘下のドレージ会社を吸収合併 —新オフィスに集約移転し、経営の一体化と効率化を推進—

2014年6月1日、当社のシンガポールの現地法人 SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd. (社長：渡邊直樹、以下「SLHS」) は、同社の100%子会社であるドレージ輸送会社 GIM GUAN FREIGHT Pte. Ltd. (シンガポール、以下「GGF」) を吸収合併し、併せて新オフィスに集約移転しましたのでお知らせいたします。



シンガポールの現地法人 SLHS は、SBSグループのアジア展開を推進・統括する機能と同国における物流事業を担っております。一方、GGF は、1987年創業のドレージ事業(コンテナ輸送)を行うシンガポール企業で、2014年1月に SLHS が全株式を取得いたしました。



ドレージ輸送風景

今般の合併は、SLHS のフォワーディング事業と GGF のドレージ事業を一体化させることで、事業領域の拡大、コストダウン、輸送品質の向上、新たな顧客開拓などの相乗効果を狙うものです。同時に、手狭となっていた SLHS のオフィスを移転し、GGF の管理部門を集約することで、業務の効率化と管理コストの低減を図ります。



新オフィスのエントランス

合併により SLHS の従業員数は、GGF から 35 名が加わり 48 名となりました。新オフィスは、シンガポールのチャンギ国際空港から車で約 15 分の距離にあり、利便性の良い場所です。広さは約 370 平米で、旧オフィスの 2 倍以上に拡張いたしました。

○新オフィス住所： No.61 Ubi Avenue 1, #05-10. UB Point Singapore - 408941

合併後、GGF は、SLHS の運送事業部門となります。年内にはトレーラー14台のほかトレーラーヘッドやトラックの増車を計画。ドレージ輸送能力は、トレーラーヘッド14台、トレーラー95台、トラック5台となる予定です。

今後、SLHS は、シンガポールにおいて国際貨物輸送、国内輸送の拡大に努めるとともに、倉庫事業や CFS (コンテナ・フレイト・ステーション) 事業などへの進出も検討し、お客様の物流ニーズにワンストップでお応えできる物流企業をめざしてまいります。

以 上

■ご参考

<SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd.の概要（2014年6月1日現在）>

(1) 名称	SBS Logistics Holdings Singapore Pte. Ltd.
(2) 所在地	No.61 Ubi Avenue 1, #05-10. UB Point Singapore
(3) 代表者の役職・氏名	渡邊 直樹 (Chief Operating Officer)
(4) 事業内容	アジア地域統括および物流事業(国際貨物輸送、国内輸送)
(5) 資本金の額	12億975万円
(6) 設立年月日	2005年10月21日
(7) 大株主及び持株比率	SBSホールディングス株式会社 100.0%

<SBSグループ概要>

持株会社：SBSホールディングス株式会社（SBSグループ純粋持株会社）

設立：1987年12月

代表者：代表取締役社長 鎌田 正彦

上場：東京証券取引所市場第一部（証券コード：2384）

本社住所：東京都墨田区太平4丁目1番3号 オリナスタワー

資本金：39億円（2013年12月末現在）

売上高：1,322億円（2013年12月末現在、連結）

従業員数：13,585名（うち正社員4,662名、2013年12月末現在、連結）

事業内容：物流事業、不動産事業、その他事業

グループ：連結子会社23社（2013年12月31日現在）

URL：日本語 <http://www.sbs-group.co.jp> 英語 <http://www.sbs-group-ir.com>

■本件に関するお問い合わせ先

SBSホールディングス株式会社

IR・広報部 早乙女 良之

TEL:03-3829-2240/e-mail:contact11@sbs-group.co.jp

※当資料に掲載されている情報は、発表日現在の情報です。その後予告なしに変更されることがございますので、あらかじめご了承ください。

以上